

御池野鳥の森の鳥たち

御池野鳥の森はバードウォッチャーの楽園です。確認されているだけでも約 151 種の鳥たちがこの保護区を年間を通じた、または特定の季節のすみかとしています。

夏の間、森は南から飛来する多くの渡り鳥の繁殖地となります。霧島の山地は、緑、青、赤の色鮮やかな羽を持つヤイロチョウにとって特に重要な繁殖地です。

森で夏を過ごす他の鳥には、真っ赤なアカショウビン、歌の上手なオオルリ、キビタキ、サンコウチョウ、ツツドリ、ホトトギス、アオバズクなどがいます。

1,000 羽以上のアヒルをはじめとした、夏の繁殖期を涼しい地域で過ごした鳥たちは、冬に霧島に渡ってきます。

オスがクリーム色の冠が乗った栗色の頭と首を見せびらかしているヒドリガモと、オスの頭と首の緑色から greenheads という名でも呼ばれるマガモの群れは、内陸の池や川、河口で暮らします。

色とりどりのオシドリと、オスが非常に長い尾羽を持つオナガガモは、この地域の川や湿地の周りで冬を過ごします。また、カルガモ、トモエガモ、キンクロハジロ、ビンズイ、ルリビタキ、ツグミなどもここで越冬します。

年間を通じてここで暮らしている鳥には、タカ、カワセミ、ヤマセミなどがいます。